



児童福祉の小窓 ～ 第1回 命を落とす子ども達 ～

人権擁護委員会では、児童養護施設での法律教室の開催や「こうのとりのゆりかご(※)」の研究等を通して、子どもの人権に関する活動をしています。本連載では、小窓から世界を垣間見るように、児童福祉の現状と課題を覗いてみたいと思います。

今月のテーマは、「命を落とす子ども達」です。

子どもが虐待・遺棄等により命を落としたという報道ほど、我々の心を痛ませ、やるせない思いに駆り立てるものはありません。一体どのくらいの子ども達が命を落としているのでしょうか？

下図は、1995年から2004年までの10年間に新聞報道された虐待死事例を集計したものです。

虐待者の年齢と受けた虐待の種類

	せっかん			無理心中			ネグレクト				発作的殺人				その他			計 (人数)
	男	女	計	男	女	計	男	女	不明	計	男	女	不明	計	男	女	計	
新生児	5	6	11	4	8	12	69	72	41	182	9	11	2	22	0	0	0	227
乳児	19	28	47	28	31	59	17	12	6	35	22	10	0	32	3	0	3	176
1歳	18	19	37	20	24	44	16	7	0	23	8	5	0	13	2	2	4	121
2歳	19	25	44	22	20	42	5	5	0	10	4	3	0	7	0	0	0	103
3歳	28	22	50	32	25	57	2	2	0	4	2	1	0	3	0	0	0	114
4歳	19	7	26	23	29	52	0	2	0	2	4	0	0	4	0	0	0	84
5歳	11	9	20	33	27	60	0	1	0	1	1	1	0	2	1	0	1	84
6歳	12	9	21	18	22	40	1	0	0	1	3	0	0	3	1	0	1	66
7歳	3	3	6	8	19	27	0	0	0	0	2	4	0	6	0	0	0	39
8歳	0	2	2	10	14	24	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	28
9歳	2	1	3	12	11	23	0	0	0	0	2	2	0	4	0	0	0	30
10歳	2	0	2	15	8	23	0	0	0	0	1	2	0	3	0	0	0	28
11歳以上	4	2	6	42	34	76	0	4	0	4	14	5	0	19	1	1	2	107
不明	0	0	0	4	0	4	0	0	7	7	1	0	0	1	0	0	0	12
合計	142	133	275	271	272	543	110	105	54	269	73	46	2	121	8	3	11	1219

多くの子ども達が命を落としており、新生児に至っては227人も子どもたちが命を落としています。

さらに、特筆すべきは、「性別不明」という欄です。この欄が示す悲しい事実に気が付きますでしょうか？この41人の子ども達の遺体は、性別が分からないほど腐爛していたということです。豊かであるという日本の片隅で、幼い子ども達が誰に弔われることなく死んでいるのです。非常に悲しい事実です。

まず、私たちはこの現実を受け止めなければならないと思います。

※「こうのとりのゆりかご」…正式名称「新生児相談室」。妊娠等に関する相談に応じており、新生児を名乗り出ることなく預けることが出来る。熊本市内の慈恵病院内にある。

【出典・参考文献】

キャプナ出版『子どもの虐待死「10年の実状」』（2006年）（本書より上図抜粋、塗りつぶしは著者加筆）、養子と里親を考える会発行「新しい家族」第49号・50号